
今を生きる

sur

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今を生きる

【Nコード】

N0646I

【作者名】

sur

【あらすじ】

無辺の大洋の中に浮かぶ僕たちは、ただ、そこに浮かび何かを待っている。

「あなたができること、あなたが夢を見て仕方がないものを始めなさい。あなたがこの世界に生まれた時のように」

それは、夢の中で僕に告げられた。僕は無辺の広大な海に浮かんでいる。そこにはただ、冷たいという感触が合つて。それでも目線の先には僕を青く包み込む雄大な空が合つて。手を伸ばせば雲をつかめそうな感じがした。実際にはかなりの距離があるのだけれど。

「あなたができること、夢を見られることをすぐに始めよ。」

僕に浸み込んでくる海水はその冷たさだけを残して、他には何もない。口に含んでみても味はしないし、色は太陽の光を受け透けていく。ただ、何とかして僕はそこに浮かんでいる。深い底に沈んでいけないように。

母の顔が浮かんでくる。全てを知り尽くしたような穏やかな顔で言葉放つ。

「あなたは出来る事を全てやってきたわ。

今すべき事はひとつだけよ。

疑うのを、やめなさい」

ああ、そうか。僕は疑っていた。何もかもを。

人を。過去を。人生を。環境を。自分を。

がむしゃらにやり通しても結果が見えない時、どうしようもない時。

ー人は疑うー

でも結局、疑って良かったことなんて一つもないんだよな。全部後悔ばかりだ。

自分ができる事を全てやり通しても結果が見えない時、どうしても私達は焦って悩んで無茶な行動に出がちになる。疑うのをやめる。そして自分を信じる。

夢なんてなければ、もっと楽に生きられるのに、と後悔もする。

でも、それがなければ自分ではないような気がする

触れたら割れてしまいそうな風船を追いかけて、ずっとずっと手を伸ばし続けてる。純粋な子供のように

夢がないと自分ではないような気がする。いつまでもそう信じられ
たなら。それだけでは解決しないことも多々あるだろうけど。

ひとかけら
一欠片さえも残さないで今を生きたい。

無辺の広大な大洋に浮かぶ僕は、最後に何処へとたどり着くのか。

飛行船が僕を探しに来て、助けてくれるのかもしれない。

あるいは、そのまま流されて何処かの浜辺に打ち上げられるのかもしれない。

もしかしたら、このまま沈んで深い深い海の底へと飲み込まれてしまふのかもしれない。

浮かんだまま冷たくなってしまう可能性だってある。

それでも、誰も、何も疑わずに。

今より自分を信じたいだけ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0646i/>

今を生きる

2010年10月22日11時06分発行